

2026年3月期 第1四半期決算補足資料



目次

1. 2026年3月期 第1四半期連結決算概要 P.3 ~ P.15
- ✓ 業績サマリー
 - ✓ 前期比 業績概要
 - ✓ 通期業績予想に対する進捗状況
 - ✓ 国内・海外 売上高比率
 - ✓ 国内 四半期売上高推移
 - ✓ 海外 四半期売上高推移
 - ✓ 国内 業態別自社機売上高
 - ✓ 海外 地域別売上高
 - ✓ 前期比 営業利益
 - ✓ 売上高・営業利益の推移
 - ✓ 連結貸借対照表

2026年3月期 第1四半期連結決算概要

2026年3月期 第1四半期連結決算：業績サマリー

(単位：百万円)

	2025年3月期 1Q実績	2026年3月期	
		1Q実績	前期比
売上高	3,715	3,452	-7.1%
国内	2,424	2,140	-11.7%
海外	1,290	1,311	+1.6%
売上総利益	1,893	1,699	-10.2%
営業利益	428	25	-93.9%
経常利益	450	16	-96.3%
当期純利益	348	9	-97.1%

1Q 概況

【売上高】

- 海外は増収となった一方、国内は前期4Qから続くコメ価格高騰の事業者への影響や、大手チェーン店の入替需要の一巡等により減収となり、売上高は減少

【売上総利益】

- 売上高の減少に加え、製造労務費および経費等の固定費の増加により減少

【営業利益】

- 売上総利益の減少に加え、中期経営計画「Next 2028」で掲げた事業基盤構築に伴う人員増強、人事制度の改定等による人的投資を中心とした先行投資としての販管費が増加したことにより減少

2026年3月期 第1四半期連結決算：前期比 業績概要

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期		
	1Q実績	1Q実績	増減額	前期比
売上高	3,715	3,452	-263	-7.1%
国内	2,424	2,140	-284	-11.7%
海外	1,290	1,311	+20	+1.6%
売上原価	1,822	1,752	-69	-3.8%
売上総利益 (利益率)	1,893 (51.0%)	1,699 (49.2%)	-193 (-1.7%)	-10.2%
販売費及び一般管理費 (販管費率)	1,465 (39.4%)	1,673 (48.5%)	+208 (+9.0%)	+14.2%
営業利益 (利益率)	428 (11.5%)	25 (0.8%)	-402 (-10.8%)	-93.9%
経常利益 (利益率)	450 (12.1%)	16 (0.5%)	-433 (-11.6%)	-96.3%
当期純利益 (利益率)	348 (9.4%)	9 (0.3%)	-338 (-9.1%)	-97.1%

2026年3月期 通期業績予想に対する進捗状況

(単位：百万円)

	2026年3月期 通期業績予想	2026年3月期 1Q実績	進捗率
売上高	17,870	3,452	19.3%
国内	11,195	2,140	19.1%
海外	6,675	1,311	19.6%
営業利益	2,000	25	1.3%
経常利益	2,045	16	0.8%
当期純利益	1,495	9	0.7%

業績見通し

【売上高】

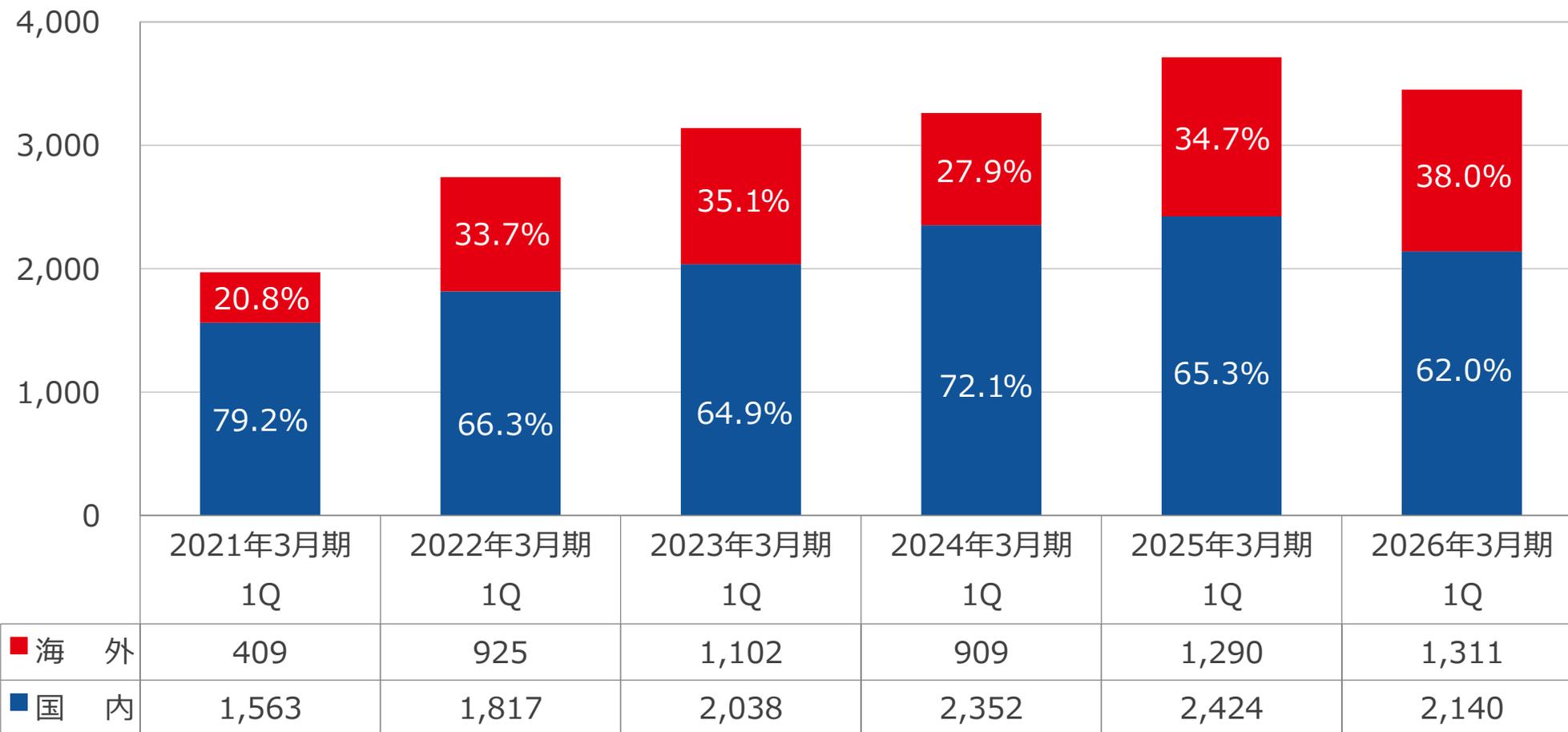
- 国内
 - ✓ 前期4Qから続くコメ価格高騰による事業者の設備投資計画の延期等への影響は、下期にかけて徐々に回復する見通し
 - ✓ Fuwaricaへのリソース集中に加え、寿司ロボットの新製品の発売に伴う旧型機の入替需要の促進等により、売上増を見込む
- 海外
 - ✓ 北米でのアプローチ強化、欧州での販売店再編効果、アジア圏での日系企業を中心とした需要増等により、売上増を見込む

【営業利益】

- 売上増に加え、成長投資とコストコントロールのバランスを鑑みながら、利益確保を図る

2026年3月期 第1四半期連結決算：国内・海外 売上高比率

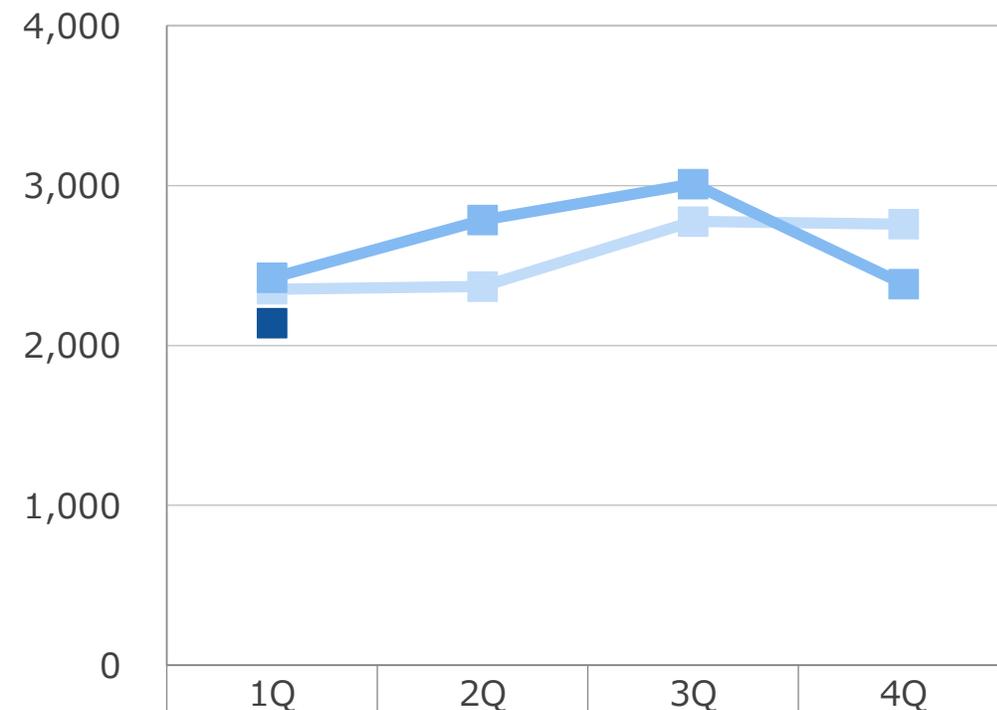
売上高 (単位：百万円)



2026年3月期 第1四半期連結決算：国内 四半期売上高推移

(単位：百万円)

■ 国内売上高



	1Q	2Q	3Q	4Q
'24/3	2,352	2,369	2,776	2,759
'25/3	2,424	2,785	3,010	2,384
'26/3	2,140			

国内の概況

【外部環境】

- インバウンド需要の増加や人手不足を背景とした省人化ニーズは継続
- 前期4Qから続くコメ価格高騰による事業者の設備投資計画の延期等への影響が1Qでは残っているものの、下期にかけて徐々に回復する見通し

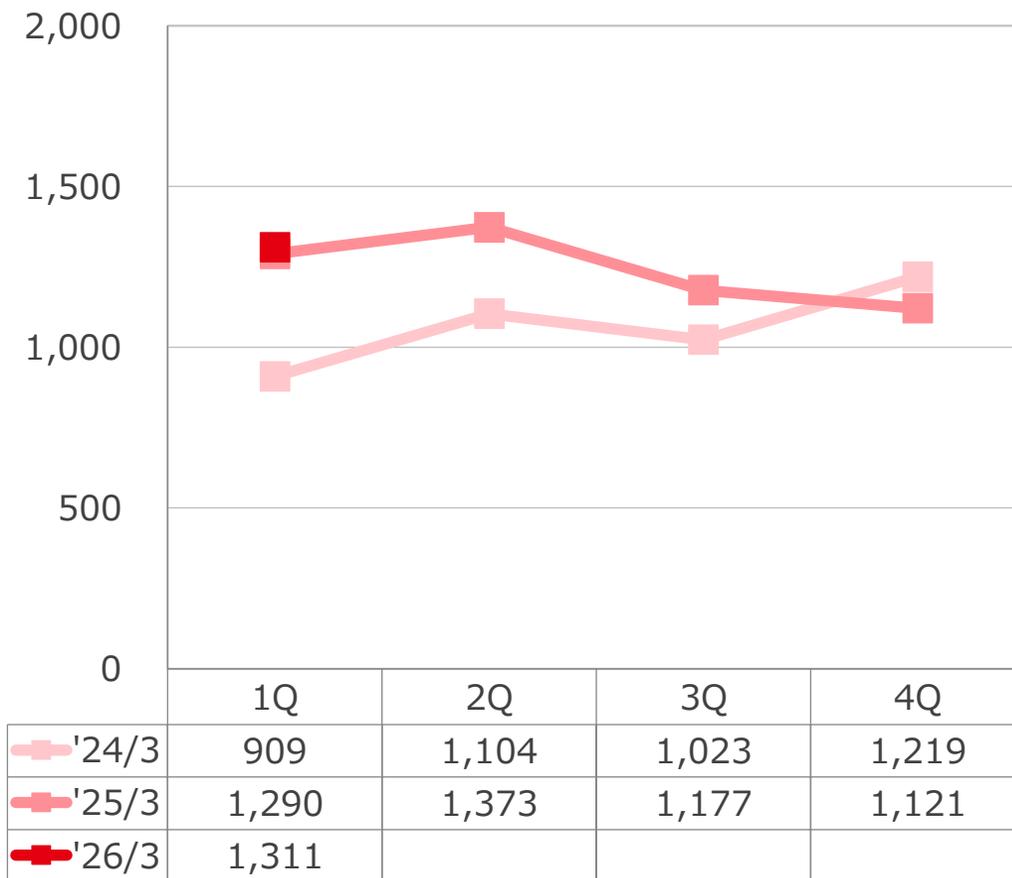
【売上高の動向】

- 1Qでは、寿司業態やレストラン・食堂業態における大手チェーン店の入替需要の一巡等により減収
- 今後は、Fuwaricaへのリソース集中に加え、寿司ロボットの新製品の発売に伴う旧型機の入替需要の促進等により、売上増を見込む
- また、国内の季節性として、年末年始休暇および恵方巻シーズンの繁忙期を前に、3Qでは資材品や製品の入替・導入需要が高まるため、こうした動向を踏まえた活動を進める

2026年3月期 第1四半期連結決算：海外 四半期売上高推移

(単位：百万円)

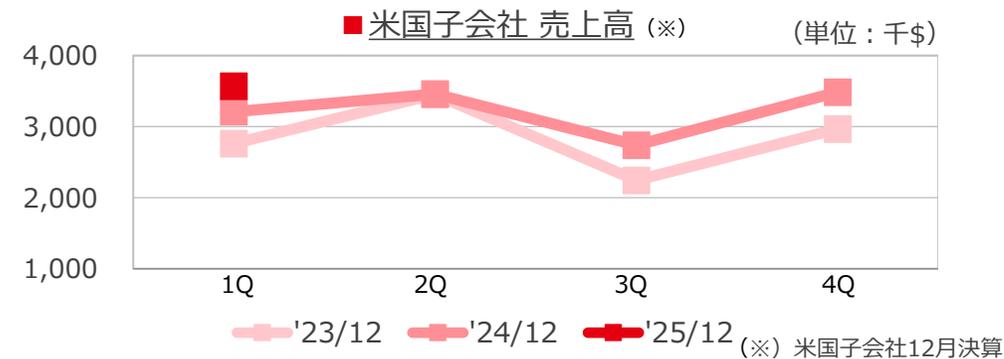
■ 海外売上高



海外の概況

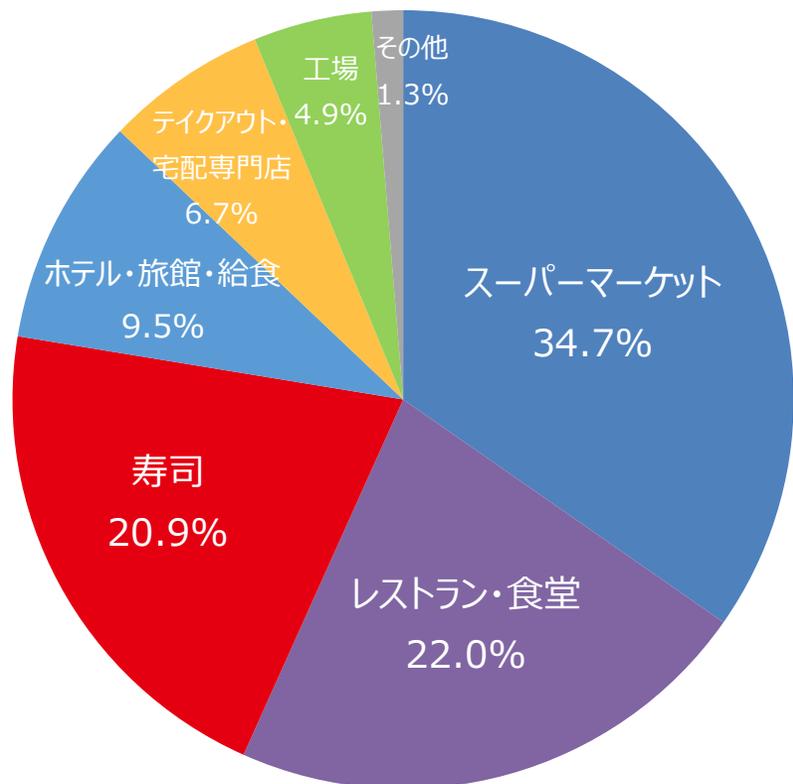
【地域別の動向】

- 北米は連結内部消去の影響により1Qは微減収となったものの、製品需要は高い水準で推移しており、米国子会社は増収。今後、関税に伴う値上げ等の対応を進めると共に、大手テイクアウトチェーンを中心にアプローチを強化し、増収を図る
- その他地域について、欧州は新製品のシート出し海苔巻きロボットが寿司テイクアウトチェーンへの導入が広がっている事に加え、販売店再編を推進していくこと、東アジアは日系企業を中心とした需要取り込みにより、引き続き、売上増を目指す



2026年3月期 第1四半期連結決算：国内 業態別自社機売上高

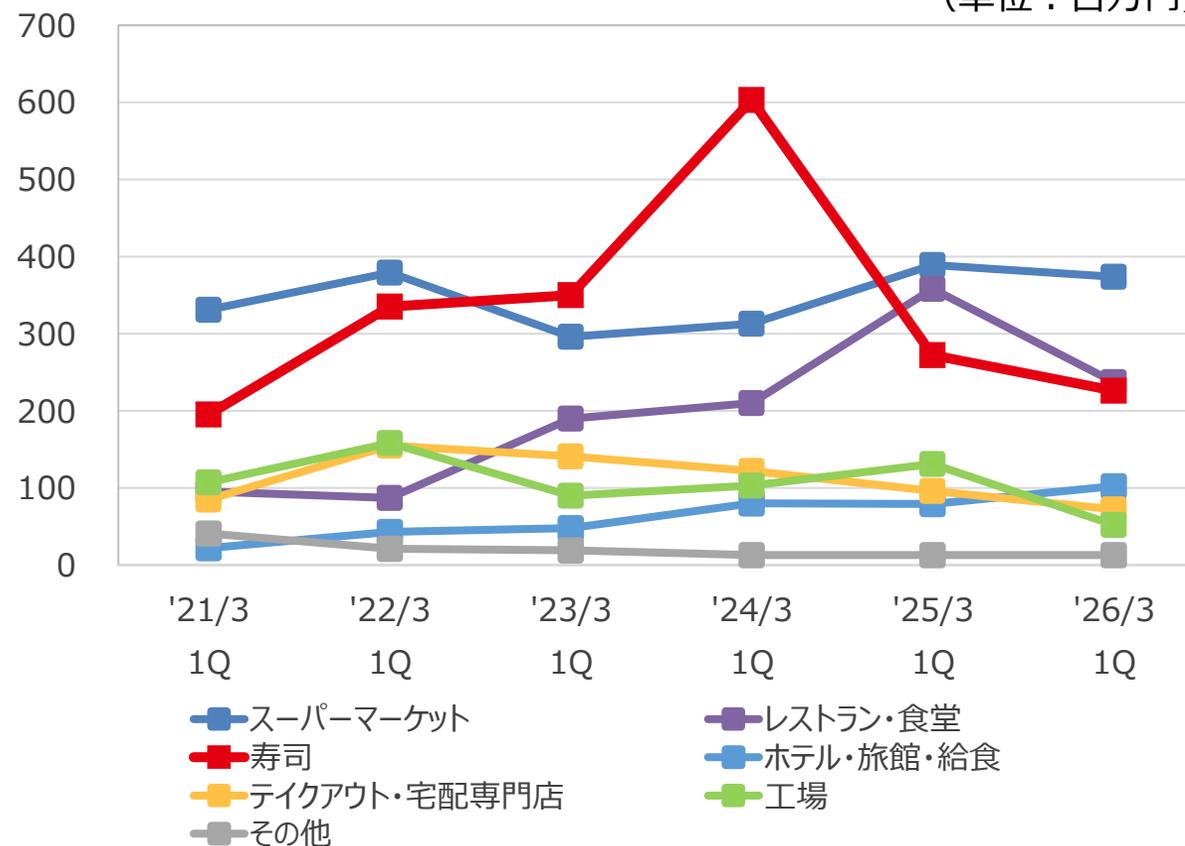
■ 国内 業態別売上高比率
(2026年3月期1Q)



※ 業態別売上高比率は国内自社機売上高に基づき算出

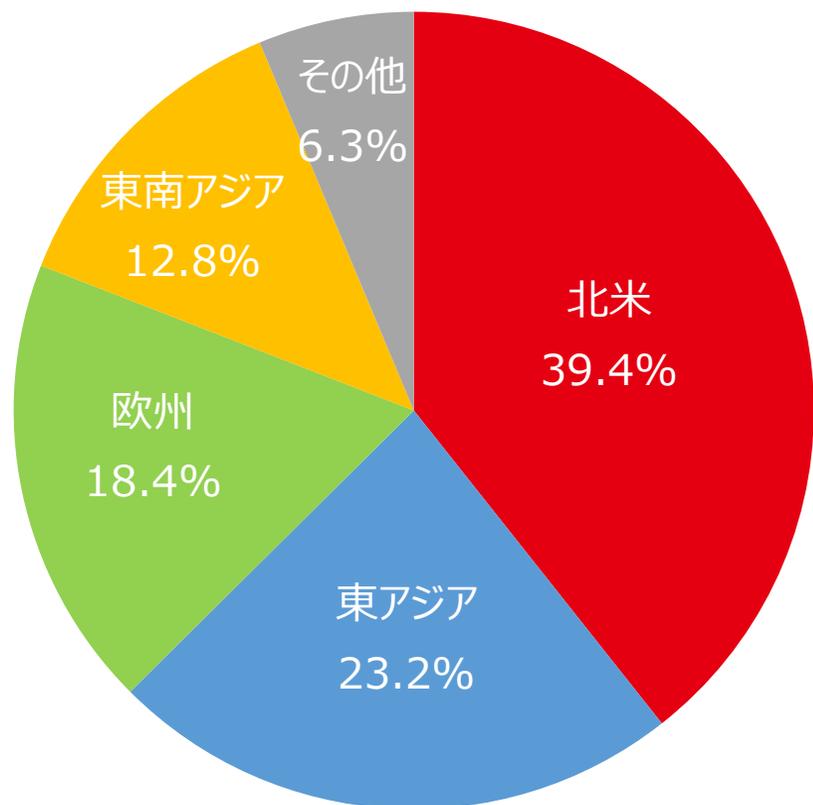
■ 国内 業態別売上高推移

(単位：百万円)



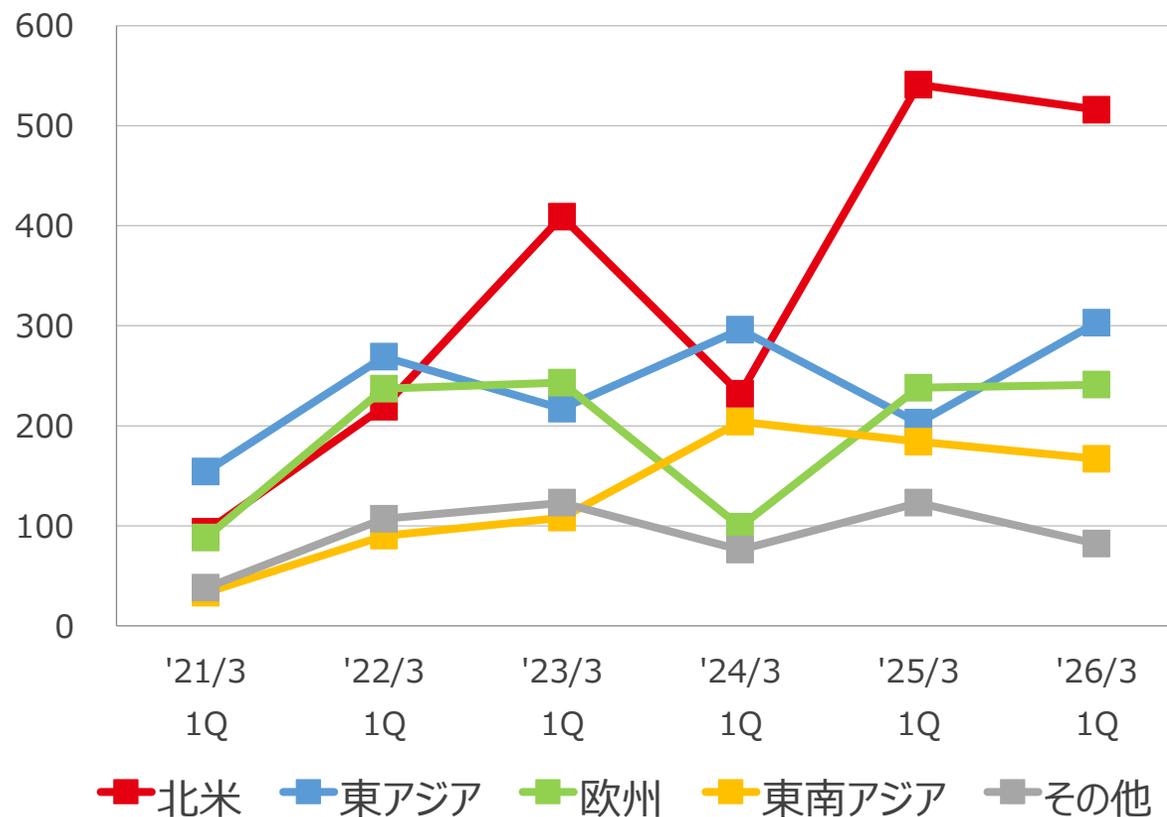
2026年3月期 第1四半期連結決算：海外 地域別売上高

■ 海外 地域別売上高比率
(2026年3月期1Q)



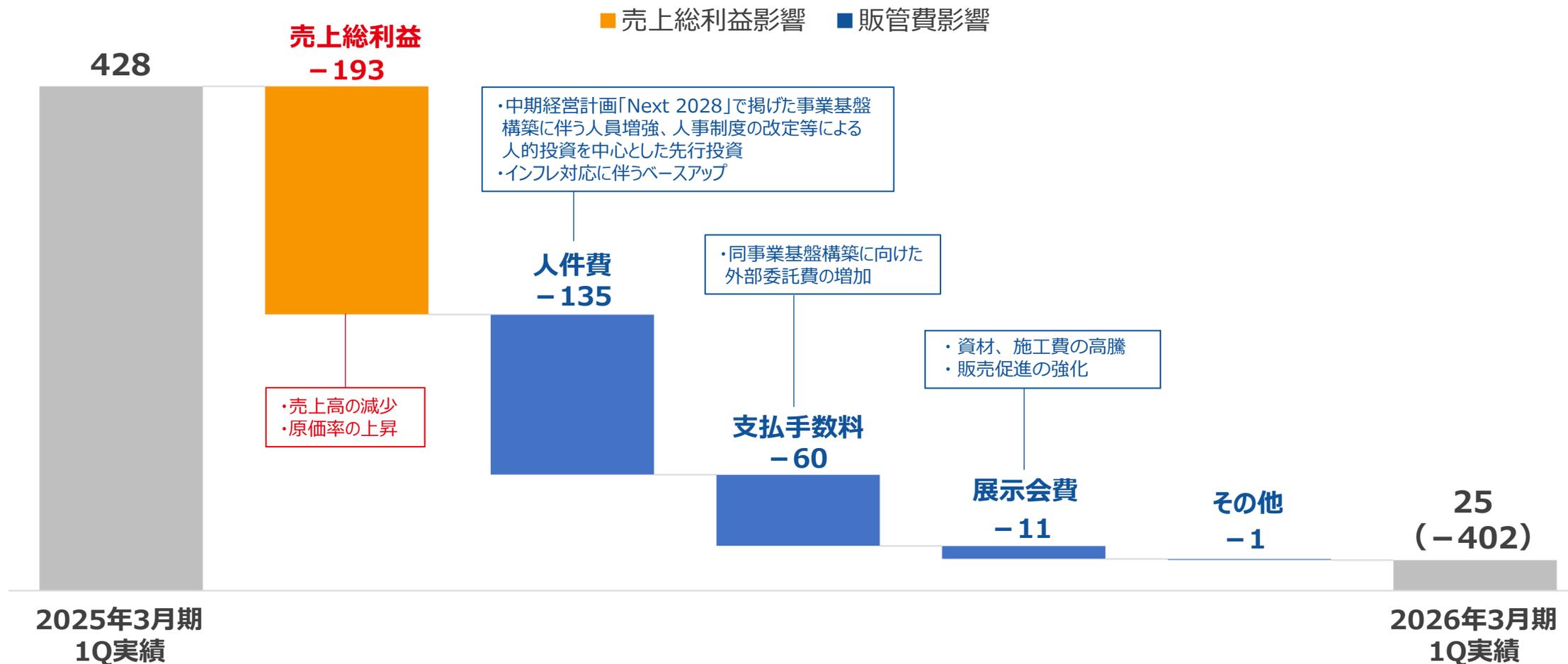
■ 海外 地域別売上高推移

(単位：百万円)



2026年3月期 第1四半期連結決算：前期比 営業利益

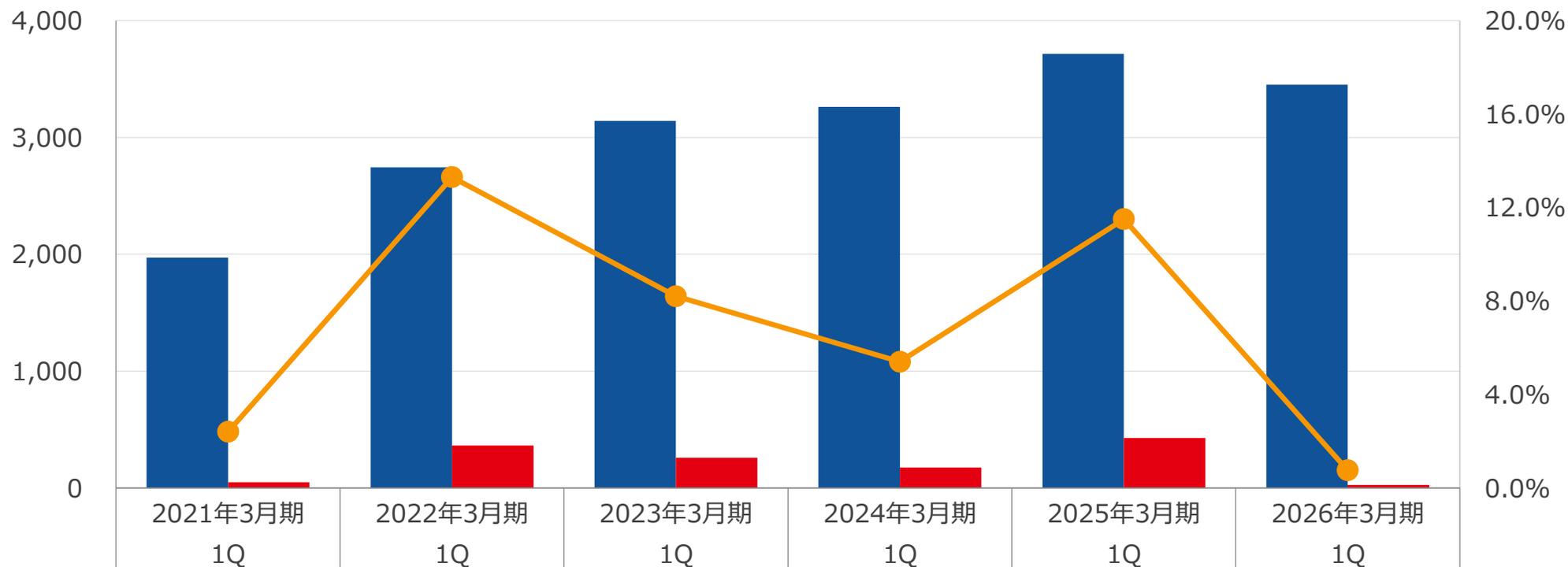
(単位：百万円)



2026年3月期 第1四半期連結決算：売上高・営業利益の推移

売上高 / 営業利益
(単位：百万円)

営業利益率



■ 売上高	1,972	2,743	3,141	3,262	3,715	3,452
■ 営業利益	48	363	257	175	428	25
● 営業利益率	2.4%	13.3%	8.2%	5.4%	11.5%	0.8%

2026年3月期 第1四半期連結決算：連結BS 資産の部

(単位：百万円)

	2025年3月期 期末		2026年3月期 1Q		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
流動資産合計	10,841	55.7%	9,690	50.8%	-1,150	-10.6%
現金及び預金	5,597	28.7%	4,435	23.3%	-1,161	-20.8%
売上債権	2,039	10.5%	1,694	8.9%	-344	-16.9%
たな卸資産	2,819	14.5%	3,055	16.0%	+235	+8.4%
その他	385	2.0%	504	2.6%	+118	+30.8%
固定資産合計	8,630	44.3%	9,387	49.2%	+756	+8.8%
有形固定資産	7,028	36.1%	7,752	40.6%	+724	+10.3%
無形固定資産	518	2.7%	529	2.8%	+10	+2.1%
投資その他の資産	1,084	5.6%	1,106	5.8%	+21	+2.0%
資産合計	19,471	100.0%	19,077	100.0%	-394	-2.0%

2026年3月期 第1四半期連結決算：連結BS 負債純資産の部

(単位：百万円)

	2025年3月期 期末		2026年3月期 1Q		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
負債合計	3,502	18.0%	3,459	18.1%	-43	-1.2%
流動負債	2,007	10.3%	2,056	10.8%	+48	+2.4%
固定負債	1,494	7.7%	1,403	7.4%	-91	-6.1%
純資産合計	15,969	82.0%	15,618	81.9%	-350	-2.2%
株主資本	15,423	79.2%	15,187	79.6%	-235	-1.5%
その他包括利益累計額	505	2.6%	395	2.1%	-110	-21.8%
非支配株主持分	39	0.2%	35	0.2%	-4	-11.4%
負債純資産合計	19,471	100.0%	19,077	100.0%	-394	-2.0%

SUZUMO

IR・取材等のお問い合わせ先

鈴茂器工株式会社 経営企画部

TEL 03-3993-1396 | Email ir-info@suzumo.co.jp

本資料の業績計画ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため諸要因の変化により実際の業績は大きく異なる可能性があります。